

## 短期大学部 企画

### 「介護フェスタ」

～見て・触れて・気づく 介護福祉の魅力発信・啓発・体験型イベント～

中 村 直 樹<sup>1)</sup>

#### 1. 事業の概要

本事業は、本学が令和5年度青森県 福祉・介護人材確保対策事業補助金（以下、補助金とする）を申請・取得し、令和5年10月28日から11月12日にかけて県内3会場のべ5日間にわたり開催したものである。厚生労働省が制定している毎年11月11日（いい日、いい日）の「介護の日」に併せて、地域住民や介護福祉に興味をもつ小・中学生、高校生などを対象に、介護のことを知り、理解を深め、一緒に考えることを目的に、平成29年度より本事業を企画・実施しており7周年目となった。本年度も補助金を取得し、以下に挙げる県内3か所（東青地区、中南地区、西北五地区）の商業施設を会場に、福祉・介護の仕事の大切さと魅力を伝えるための「介護フェスタ」を実施したので、このことについて報告する。

#### 2. 開催日時・場所

- ・第1回目（弘前市会場）  
令和5年10月28日（土）・29日（日） 10:00～16:00  
イトーヨーカドー弘前店 1階エントランス催事場
- ・第2回目（つがる市会場）  
令和5年11月3日（祝・金） 10:00～16:00  
イオンモールつがる柏 2階イオンホール
- ・第3回目（青森市会場）  
令和5年11月11日（土）・12日（日） 10:00～16:00  
ラ・セラ東バイパスショッピングセンター  
1階イベントホール

#### 3. 開催内容

##### 1) 福祉〇×クイズ大会

各日とも3～4回を基本としてそれぞれ約20分間、介護保険制度や認知症、感染症予防、車いすの操作方法などの内容に焦点を当てたクイズ大会を開催した。筆者が司会者を務め、〇×形式で来場者に回答してもらう形式により実施した。



写真1



写真2 福祉〇×クイズ大会

1) 弘前医療福祉大学短期大学部（〒036-8102 青森県弘前市小比内3-18-1）

## 2) MC×若手介護福祉士&介護福祉学生トークセッション

各会場とも、10月29日・11月3日・11日の午後1時から約60分間、メインステージを会場にMC（進行役）と若手介護福祉士及び介護福祉学生によるトークセッション（以下、トークセッションとする）を開催した。MC役は若手介護福祉士（本学卒業生）の安達央帆氏が担当した。また、若手介護福祉士（本学卒業生）と介護福祉学生（本学別科 介護福祉科1年生から選抜）を各1名ずつゲスト出演してもらった。

冒頭で筆者より、「青森県福祉・介護人材確保定着ブランドデザイン<sup>1)</sup>」の内容や昨今の介護福祉情勢等について解説した後、MCの進行にあわせながら、ゲストの自己紹介、仕事や勉強の内容紹介などの後、介護福祉士を目指したきっかけ、短大（養成校）で介護を学んでみての感想、講義などで調査した便利な福祉機器・用具の紹介、介護福祉士として働くことの楽しさや魅力、仕事する上で抱える課題や克服策などについて、「つらいこと、大変なこと、また、経験上困ったこと」「楽しいこと、介護の仕事をしている喜び、経験上のノウハウ・キャリアアップ」といったように、一つずつ題を出しながら進化した。セッションの最後にはまとめとして、事前に準備したフリップに「私の決意」を書いてもらい、来場者に向けて自己の抱負を述べてもらった。



写真3 トークセッション

## 3) ミニ講座「介護と防災を考える」

各会場とも、10月29日・11月3日・11日は午前11時30分から、12日は午後1時からそれぞれ約30分間、メインステージを会場に、本学救急救命学科及び地域安全防災研究所の教職員（筆者・荒谷雄幸・建部公祐）及び救急救命学科学生（石澤琉門・吉井汰央・谷咲桜）によるミニ講座「介護と防災を考える」を開催した。冒頭で講師より、もしも災害が起きた時に介護場面においてどのような行動がとれるか、またその備えとしてどのようなことに取組んでおけばよいのかなどについて講義をした後、自宅における入浴介護場面を想定したミニ寸劇を披露した。高齢男性が入浴中にヒートショックを起こし

救急隊員に引き継ぐまでの場面を想定し、浴槽からの搬出法や毛布・シーツなど自宅にあるものでの応急的な運搬方法などについて実演し、最後に来場者にも体験してもらった。



写真4 ミニ講座「介護と防災を考える」

## 4) 展示相談会「歯の健康と介護予防」

本学口腔衛生学科の教員（早川和江・小山俊朗・山本裕香子・佐藤五代子・鹿内真澄・若宮久美）により、指導・相談ブース「歯の健康と介護予防」を設けた。健康寿命を延ばすための口腔ケアについて、歯科医師及び歯科衛生士から直接指導や相談ができるコーナーとして来場者に立ち寄ってもらった。



写真5 展示相談会「歯の健康と介護予防」

※以下、紙面の都合上、タイトルと記録写真（一部）のみ掲載する。

- 5) 企画展「介護施設・事業所におけるBCP（業務継続計画）」
- 6) 介護福祉がよくわかるパネル展示
- 7) 介護レクリエーション体験
- 8) 防災グッズ 展示コーナー
- 9) 介護福祉機器・用品体験・相談コーナー
- 10) イベントリーフレット・福祉の仕事ガイドブック・オリジナル介護マンガ冊子 配布
- 11) 介護学生による学習成果発表



写真6 会場全体の様子(青森市会場)



写真7 介護レクリエーション体験



写真8 介護福祉がよくわかるパネル展示



写真9 介護場面における防災グッズの相談対応

## 12) その他

- 来場者プレゼント（無料配布）
  - ①防災ミニボトル、②キャンペーンティッシュ、③介護食（レトルト食品やゼリーなど）

## 4. 効果

### 1) 来場者アンケートの実施

来場者にアンケートを実施し、3会場合計336名から回答を得た（令和4年度比8%減）。アンケート内容は、性別、年代、住所地などの基本属性に加えて、パネル展示などを閲覧する前と後とは、介護福祉に対するイメージがどのくらい変化したかについて、「楽しさ」・「魅力」・「理解度」・「興味」の4項目について測定した。また、意見・感想について自由記述欄を設けた。以下、アンケート結果と分析について記す。なお、アンケートへの回答は来場者の任意である。

### 2) 各設問に対する回答結果

#### 問1 回答者の性別

- 男性93名、女性243名（計336名）

#### 問2 回答者の年代

- 上位順に、30歳代53名、70歳代51名、40歳代47名、50歳代45名、などであった。また、女性の来場者が約72%、男性が28%であった。

#### 問3 回答者の住所地

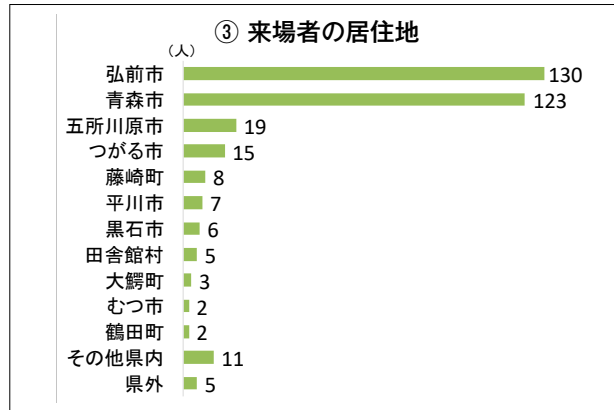
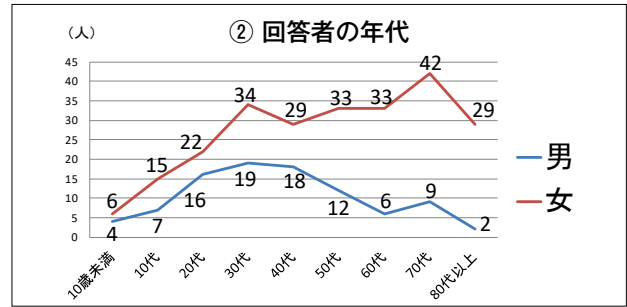
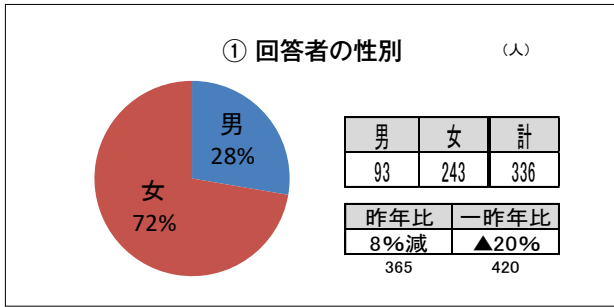
- 上位順に、弘前市130名、青森市123名、五所川原市19名などであった。

#### 問4 展示閲覧など前後の介護福祉に対するイメージ変化

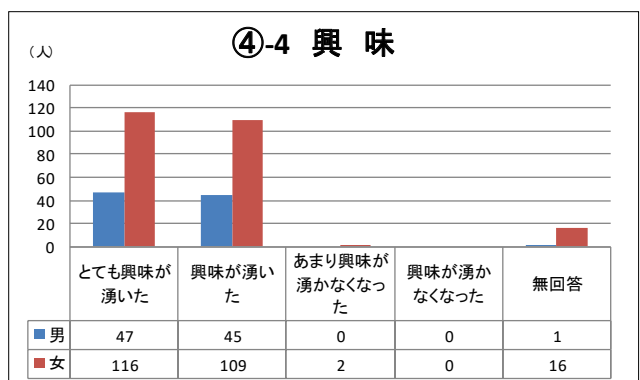
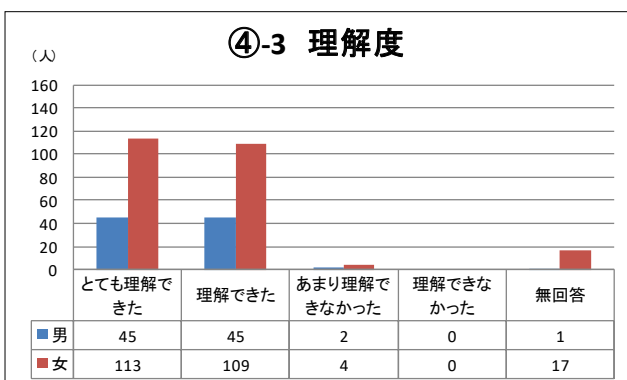
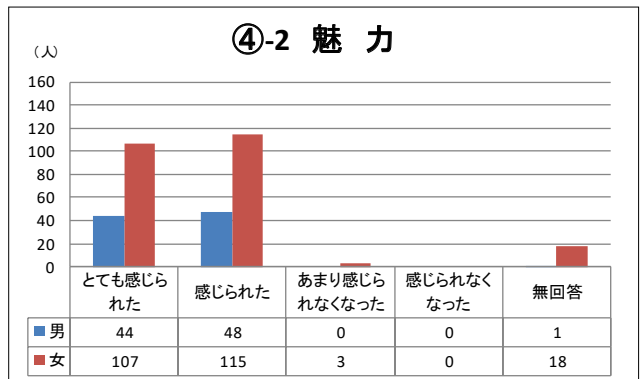
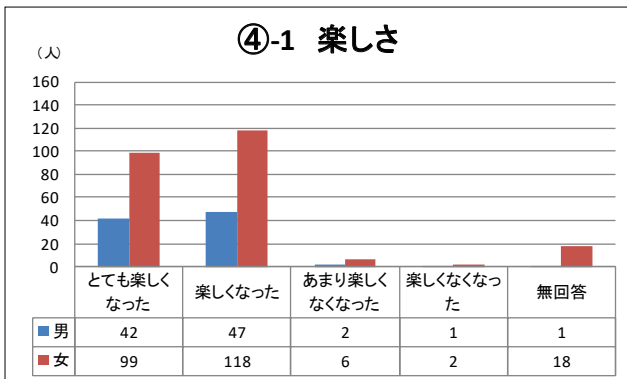
- 項目「楽しさ」・「魅力」・「理解度」・「興味」のうち、「理解度」・「興味」については「とても楽しくなった」などの第1位に値する項目が一番多く、「楽しさ」・「魅力」については「楽しくなった」などの第2位に値する項目が多い結果となった。

#### 問5 意見・感想

- 全年代を通して計75名の記述があった。



#### ④ 介護フェスタパネル展示などの閲覧前後での介護福祉に対するイメージ変化



⑤ 意見・感想

年代	性別	内容（原文）
10代	男性	介護福祉士・救命士 最高!!
	女性	楽しかった。
	女性	お題に合わせてしりとりをする時、脳や身体を使って認知症を予防できると聞いたので、家でも家族とやってみたいなと思いました。
	男性	〇×クイズのスケジュールを事前に書いてほしい。
20代	女性	幅広い知識をありがとうございます。
	男性	このアンケートにイベントを知ったきっかけを問う項目があれば良いと思いました。
	男性	介護分野に触れる機会がないので、いい体験でした。ヒートショックの寸劇は分かりやすく、気を付けないと実感しました。
	女性	私は、もう少し理解を頑張りたい。
	男性	良い経験となった。
	女性	〇×クイズが国試に役立ちそうで、立ち寄ってみてよかったと思った。
	女性	改めて介護の内容を知れました。障害の分野ももう少し知れたらと思いました。
	男性	展示物がたくさんあり、良い!
	男性	良いお話を聞けました。
	女性	トークセッションの内容がおもしろかった。私が働いている施設でもICT(タブレット・インカム)を活用しているので、介護フェスタでも広めてほしい。
30代	男性	頑張ってください!!
	女性	とても分かりやすく、見やすかったです。
	男性	小さい子にも優しくしてもらえました。
	女性	介護従事者です。フェスタをもっともっと広め、老若男女、全ての人と共有していきたいです。
	女性	いつか自分も介護が必要になると思うので、必要なものだと思います。
	女性	いろいろ体験できて楽しかったです。
40代	女性	初めてこういうのを見に来たのですが、もっと色々な所でやって欲しいと思いました!
	女性	少し、ゆっくり見づらい感じがした。
	男性	福祉関係の仕事をしています。人材不足が常態化しております。このようなイベントをやって頂いて、本当にありがたいです。
	女性	素晴らしい取り組みです。青森市でも多く開催していただきたいです。
	男性	ありがとうございます。
	女性	介護のすばらしさを感じました。
	男性	介護保険のことがクイズを通じてよくわかりました。
	女性	現在、介護職をしているので役立ちました。
	女性	介護は大変です。
	男性	介護の相談ができてよかった。
50代	女性	10年前、母の介護をしていた時とは全く違った気持ちで進化した介護の世界を拝見いたしました。パネルで、現在ご活躍の介護職の方々の様子を知れたのも良かったです。安心しますね。
	女性	介護の仕事は大変だと思われがちですが、とても楽しい仕事だと思いました。
	女性	まだ大丈夫と思っても、わが家には80を超えた母と90を超えた叔母がいて、少しずつ身のまわりを整えていくことが大切なのだと思える取っ掛かりになった展示内容であった。
	女性	実技や救急の心肺蘇生等をやっほしかったです。
	女性	良かったです。
	女性	自分もいつか歳をとると思った。
	男性	車いすクイズ楽しいです。全問正解できました。
	女性	トイレの椅子、1か月、付属品いくら書いてあるとよいと思いました。
	女性	学科横断で取り組みをされ、非常に楽しかったです。
	女性	介護の日はまだ認知されていないので、継続した活動をお願いしたいです。
	女性	いつもありがとうございます。ヒートショック(お風呂版)教材にさせていただきます。
	女性	勉強になりました。
	女性	ここに来て、こういうイベントを知りました。良かったです。
	男性	介護をする人の事は解りましたが、受ける人との組み合わせはどうなるのか?
60代	女性	これからも皆様のお役に立つ知識を広めて下さい。ありがとうございました。
	女性	母が特養に居たし、介護医療院にも行ったので、良く分かっているつもりです。
	女性	勉強になりました。
	女性	皆様、笑顔で迎えてくれてありがとう。
	女性	トークセッションのMCさん、とても良い。展示内容も大変参考になった。救急の寸劇も大変参考になった。
	男性	自分ももうじきお世話になるでしょう。
	女性	寸劇がわかりやすく、内容的にも大変ためになった。展示物も一般にもわかりやすく良かった。
	女性	親切に口腔内の事を教えていただき助かりました。ありがとうございました。
70代	女性	外国人に頼らざるを得ない。人手不足を感じます。
	女性	色々、細かいところまで配慮された器具などに感動させられました。
	女性	質問に親切に答えて下さって参考になりました。ありがとうございました。
	男性	新聞を見て来ました。防災グッズ、福祉用具展示よかったです。
	女性	デイサービスに週2で行っている姉がいるので、気になり、来てみた。
	女性	これからの自分のために役立つと思う。
	女性	ベッドは心地よかったです。
	女性	楽しさにおいては、いづれお世話になるかと思うと、“あまり”と答えた。自立していきたい。
	男性	いいネ!!
	女性	口腔衛生学科のスタッフがとても親切でした。
	女性	介護の経験があるので、身近にいたら協力したいと思った。
	女性	老夫婦で過ごしているのていろいろ不安はあります。
	女性	介護経験有なので、もっと前に知りたかった。
	男性	大変勉強になりました。
女性	なかなか見学する機会がないので良かった。	
80代	女性	来年もこの場所での開催を希望!
	女性	ここ2~3年来てみていますけど、本当に一生懸命やっていることがよくわかる。スタッフの皆様本当におつかれさまです。
80代以上	女性	大変良かったです。
	女性	自分もそのうちお世話になることを考え参考になった。
	女性	介護される立場になりましたが、介護する人の働きやすい職場を作ることによって高齢者にやさしく接することができるのではないかと思います。
	女性	現在、ケアハウスに入所中で、介護の認定を受けていません。
	女性	この場所で、来年も開催されるといいなあ。説明がとてもうまい。
女性	歯の相談ができてよかったです。	

## 5. まとめ

実施7周年目となった今回、コロナ禍明けの様々な影響から3地域すべてにおいて会場変更を余儀なくされたものの、例年並みの、一定の効果を得ることができた。来場者との対話や意見・感想の記述を通じて、「介護福祉」に関する理解や認識共有にはまだまだ課題が山積しており、これらの整理に向けた取組を着実に進めていかなければならないと考える。「地域共生社会」実現に向けて、本短期大学部が併せ持つ介護・救急救命及び防災・口腔衛生などの教育資源をフルに活用し、今後も個々の生活に寄り添いながら、引き続き、青森県の福祉・介護人材確保に向けて寄与していきたい。

最後に、補助金の事務に際しご指導いただいた青森県健康福祉部健康福祉政策課、会場をお貸しくださった各商業施設の受入担当者、介護福祉機器・用品及びパネル展示、リーフレットやグッズ類などの作成に際しお世話になった関係業者、広報宣伝にご協力いただいた各報道機関及び行政機関、ご来場くださった多くの県民の皆さまに心から感謝申し上げる次第である。

・役割分担（敬称略）

### 1) トークセッション出演者

	10/29 (日) イトーヨーカドー	11/3 (祝・金) イオンモール	11/11 (土) ラ・セラ
MC	安達 央帆	安達 央帆	安達 央帆
若手介護福祉士	福士 未優	中嶋 楓香	成田 光治
介護福祉学生	鎌田 実優	横山 果林	對馬 純夏

### 2) 教職員・学生スタッフ

	10/28 (土) イトーヨーカドー	10/29 (日) イトーヨーカドー	11/3 (祝・金) イオンモール	11/11 (土) ラ・セラ	11/12 (日) ラ・セラ	その他 準備日など
企画担当	中村 直樹					
教職員 スタッフ 及び 出演者	戸来 睦雄 中村 聡 塩谷 千晶 相馬 陽子 佐藤五代子 松宮 久美	戸来 睦雄 早川 和江 中村 聡 相馬 陽子 荒谷 雄幸 建部 公祐	戸来 睦雄 相馬 陽子 福士 尚葵 荒谷 雄幸 山本裕香子 鹿内 真澄 建部 公祐	戸来 睦雄 中村 聡 相馬 陽子 福士 尚葵 荒谷 雄幸 佐藤五代子 鹿内 真澄 建部 公祐	戸来 睦雄 小山 俊朗 中村 聡 相馬 陽子 福士 尚葵 建部 公祐	戸来 睦雄 工藤 雄行 相馬 陽子 佐藤 吉彦 山口 敬義 建部 公祐
学生 スタッフ 及び 出演者	加藤 莉玖 工藤 泰子 榊 真琴 高杉 遥 工藤 唯生 川端 彩由 高橋きらら	鎌田 実優 横山 果林 石澤 琉門 吉井 汰央 高杉 遥 工藤 唯生	太田 龍也 田村咲理衣 横山 果林 石澤 琉門 吉井 汰央 川端 彩由 高橋きらら 村上 聖菜 宮本 唯央	佐藤 綾 辻 楓香 對馬 純夏 石澤 琉門 吉井 汰央 川端 彩由 工藤 唯生	伊藤 涼俊 佐々木桃羽 石澤 琉門 吉井 汰央 谷 桜咲	
外部 協力者		葛西祐二郎	葛西祐二郎		葛西祐二郎	葛西祐二郎 成田 光治

## 文献

- 1) 青森県：青森県福祉・介護人材確保定着グランドデザイン（解説編）. 13-19. 2016.
- 2) 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会：近い未来の介護福祉士. <http://kaiyokyo.net/future/index.html>（最終閲覧日2023/12/25.）